

# “迷惑をかけたくない”の背景を読み解く 日本思想史から考える意思決定支援

患者さんが「迷惑をかけたくない」と語るとき、その背景には個人の性格だけではなく、日本社会が長く育んできた“迷惑”意識・価値観が大きく影響しています。その文化的文脈を理解することは、意思決定支援の質を高めるうえで欠かせません。

本研修では、日本思想史の視点から「迷惑をかけたくない」という意識の歴史的形成を紐解き、患者の語りをどのように受け止め、支援に結びつけていくかを考えます。

日々の実践に活かせる「背景を読み取る力」を一緒に深めていきませんか？

2026年

9月3日(木)

19:00~20:30

(受付 18:30~)



## 会場

### 岡山市立市民病院 1階 多目的ホール

(岡山市北区北長瀬表町三丁目20番1号)

下記の URL または二次元コードからお申込みください。

申込み〆切 8月26日(水)17時まで

定員 先着 100名

<https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000032661.html>



退院支援職員研修



## プログラム

### 講演

「迷惑をかけたくない」という言葉の向こう側  
～患者の本当の思いに気づく手がかりは何か？～

### グループワーク

- 自分がこれまでに会った「迷惑をかけたくない」という思いに関する事例
  - 患者・利用者との関わりの中で抱いた「ちょっと困った」思いや戸惑い
  - 日々の支援の中で感じている思いや悩み
- など

### 講師

#### 本村 昌文 先生

岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 教授

近世日本の儒教思想や死生観の分析を基盤に、老い・看取り・死をめぐる「迷惑をかけたくない」という意識がどのように形成されてきたのかを、思想史・文化史の視点から研究されています。

また、現代の医療・介護現場で頻りに語られる「迷惑をかけたくない」という患者の語りについて、歴史的背景や文化的文脈から捉え直すことで、ケア実践における価値観や意思決定を理解するための視点を提示されています。思想史研究とケア実践との接点を探る学際的アプローチにも取り組まれ、患者の語りを理解するための文化的枠組みの検討を進めておられます。

主催

岡山市医療政策推進課地域ケア総合推進センター  
(岡山市北区北長瀬表町二丁目 17-80)

お問い合わせ

TEL 086-242-3135  
(受付時間/平日 8:30~17:15)



# 【岡山市立市民病院 構内マップ】



## ※注意事項

- 当日は時間外窓口のある西出入口よりご来場ください。
- 自動ドアがしまっている場合は、案内に従いインターフォンで研修参加の旨をお伝えください。
- 当日お車でお越しの方は、病院併設の立体駐車場をご利用ください。駐車券は会場受付にて無料処理いたします。